

作物統計調査 令和6年産飼料作物の作付（栽培）面積及び収穫量、 えん麦（緑肥用）の作付面積

— 牧草の作付（栽培）面積は69万5,500haで、前年産に比べ1%減少 —
— 収穫量は2,414万8,000tで、前年産に比べ1%増加 —

【調査結果の概要】

1 飼料作物計

作付（栽培）面積は97万5,500haで、前年産に比べ4万2,500ha（4%）減少した。

2 牧草

作付（栽培）面積は69万5,500haで、前年産に比べ9,700ha（1%）減少した。
収穫量は2,414万8,000tで、前年産に比べ17万6,000t（1%）増加した。

3 青刈りとうもろこし

作付面積は9万6,500haで、前年産に比べ700ha（1%）減少した。
収穫量は497万2,000tで、前年産に比べ3万2,000t（1%）増加した。

4 ソルゴー

作付面積は1万1,000haで、前年産に比べ700ha（6%）減少した。
収穫量は43万3,300tで、前年産に比べ6万3,900t（13%）減少した。
これは、作付面積が他作物への転換等により減少したこと及び主に九州の一部地域において、高温及び少雨の影響による発芽不良や生育不良がみられたためである。

5 えん麦（緑肥用）

作付面積は2万9,900haで、前年産に比べ6,100ha（17%）減少した。
これは、主産地である北海道において、作付中止や他作物への転換があったためである。

表 令和6年産飼料作物の作付（栽培）面積、10a当たり収量及び収穫量、
えん麦（緑肥用）の作付面積

区 分	作 付 (栽培) 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作付(栽培)面積		10 a 当 たり 収 量	収 穫 量			10 a 当 たり 平 均 収 量 対 比	10 a 当 たり 平 均 収 量
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比	対 差	対 比	対 比
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	%	kg
飼 料 作 物 計	975,500	...	...	△42,500	96	nc	nc	nc	nc	nc	...
うち牧草	695,500	3,470	24,148,000	△9,700	99	102	176,000	101	101	101	3,420
青刈りとうもろこし	96,500	5,150	4,972,000	△700	99	101	32,000	101	102	102	5,050
ソルゴー	11,000	3,940	433,300	△700	94	93	△63,900	87	92	92	4,260
えん麦（緑肥用）	29,900	...	...	△6,100	83	nc	nc	nc	nc	nc	...

注：1 「（参考）10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（前年産を起点とした過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

2 「…」は事実不詳又は調査を欠くもの、「△」は負数又は減少したもの、「nc」は計算不能であることを示す。

○ 「飼料作物計」とは、牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴーのほか、その他飼料作物（飼料用米等）を含めた合計である。
なお、本調査の収穫量調査は、牧草、青刈りとうもろこし及びソルゴーを対象に調査を実施している。

◎累年データ

1 飼料作物の作付（栽培）面積、10 a 当たり収量及び収穫量の推移（全国）

区 分	飼料作物計									
	牧 草				青 刈 り と う も ろ こ し			ソ ル ゴ ー		
	作付(栽培) 面 積	作付(栽培) 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	作付面積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	作付面積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量
	ha	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成27年産	975,200	737,600	3,540	26,092,000	92,400	5,220	4,823,000	15,200	4,790	728,600
28	988,400	735,200	3,360	24,689,000	93,400	4,560	4,255,000	14,800	4,430	655,300
29	985,100	728,300	3,500	25,497,000	94,800	5,040	4,782,000	14,400	4,620	665,000
30	970,300	726,000	3,390	24,621,000	94,600	4,740	4,488,000	14,000	4,410	618,000
令和元	961,600	724,400	3,430	24,850,000	94,700	5,110	4,841,000	13,300	4,350	578,100
2	955,700	719,200	3,370	24,244,000	95,200	4,960	4,718,000	13,000	4,140	537,600
3	1,001,000	717,600	3,340	23,979,000	95,500	5,140	4,904,000	12,500	4,110	514,300
4	1,026,000	711,400	3,520	25,063,000	96,300	5,070	4,880,000	12,000	4,170	500,700
5	1,018,000	705,200	3,400	23,972,000	97,200	5,080	4,940,000	11,700	4,250	497,200
6（概数）	975,500	695,500	3,470	24,148,000	96,500	5,150	4,972,000	11,000	3,940	433,300

資料：農林水産省統計部「作物統計」（以下2の統計表まで同じ）

2 えん麦（緑肥用）の作付面積の推移（全国）

区 分	えん麦（緑肥用）		
	計	田	畑
平成29年産	43,700	8,800	34,900
30	44,700	8,460	36,200
令和元	41,600	5,070	36,500
2	41,100	4,850	36,200
3	45,100	4,690	40,400
4	44,000	4,200	39,800
5	36,000	3,570	32,400
6（概数）	29,900	2,880	27,100

注：えん麦（緑肥用）は平成29年産から調査を行っている。

【調査結果】

1 飼料作物計

作付（栽培）面積は 97 万 5,500ha で、前年産に比べ 4 万 2,500ha（4％）減少した。
これは、飼料用米等の作付けが減少したためである。

2 牧草

(1) 作付（栽培）面積

作付（栽培）面積は 69 万 5,500ha で、
前年産に比べ 9,700ha（1％）減少した。

(2) 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は 3,470 kg で、前年産
に比べ 2％上回った。

(3) 収穫量

収穫量は 2,414 万 8,000 t で、前年産
に比べ 17 万 6,000 t（1％）増加した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北
海道が全国の約 7 割を占めている。

図 1 牧草の作付（栽培）面積及び
収穫量の推移（全国）

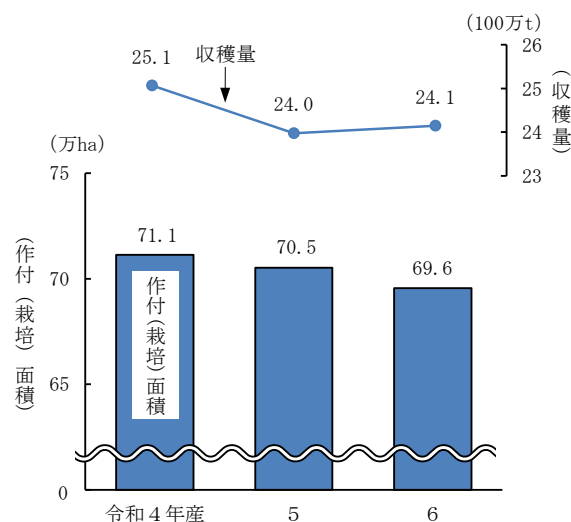
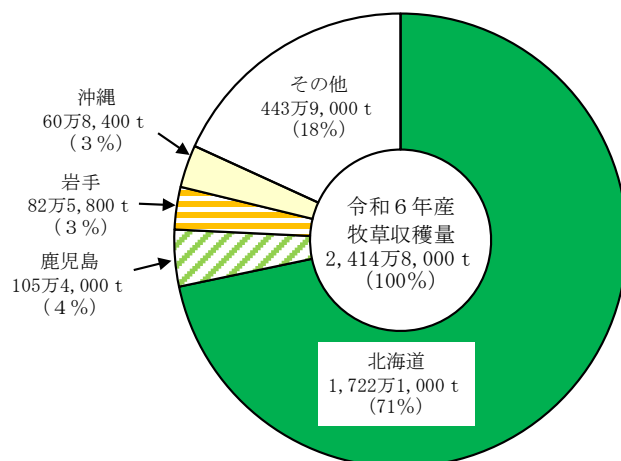


図 2 令和 6 年産牧草の都道府県別
収穫量及び割合



注： 数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下、図 4、図 6 において同じ。）。

3 青刈りとうもろこし

(1) 作付面積

作付面積は9万6,500haで、前年産に比べ700ha（1%）減少した。

(2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は5,150kgで、前年産に比べ1%上回った。

(3) 収穫量

収穫量は497万2,000tで、前年産に比べ3万2,000t（1%）増加した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の約7割を占めている。

図3 青刈りとうもろこしの作付面積及び収穫量の推移（全国）

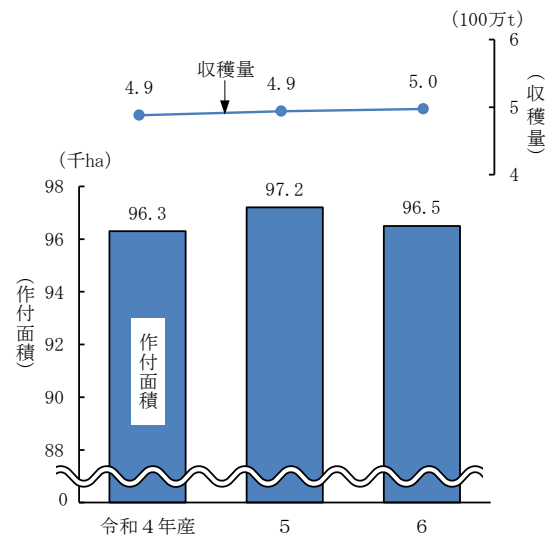
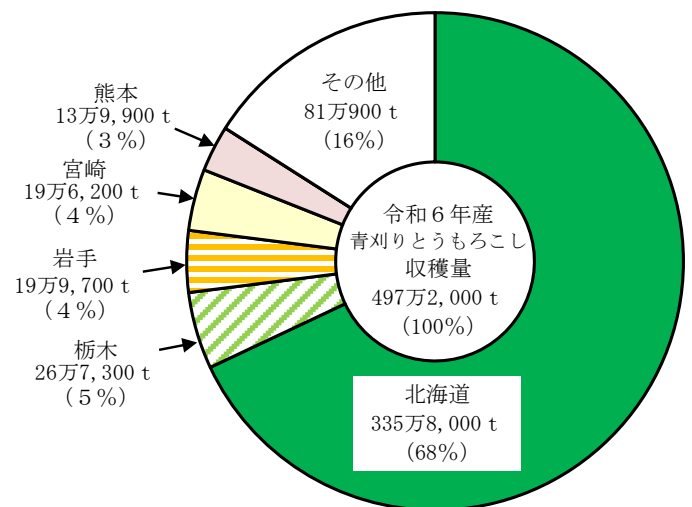


図4 令和6年産青刈りとうもろこしの都道府県別収穫量及び割合



4 ソルゴー

(1) 作付面積

作付面積は1万1,000haで、前年産に比べ700ha（6％）減少した。

これは、他作物への転換等があったためである。

(2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,940kg で前年産に比べ7％下回った。

これは、主に九州の一部地域において、高温及び少雨の影響による発芽不良や生育不良がみられたためである。

(3) 収穫量

収穫量は43万3,300t で、前年産に比べ6万3,900t（13％）減少した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、宮崎県が24％、鹿児島県が14％、長崎県が11％、大分県が8％、熊本県が7％、千葉県が4％となっており、この6県で全国の約7割を占めている。

図5 ソルゴーの作付面積及び収穫量の推移（全国）

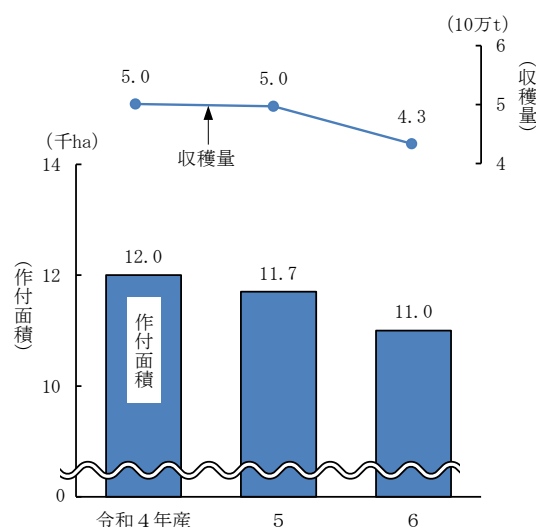
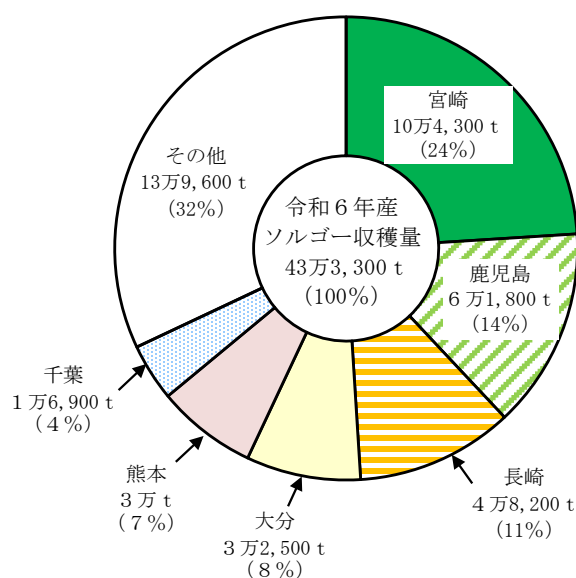


図6 令和6年産ソルゴーの都道府県別収穫量及び割合



5 えん麦（緑肥用）

作付面積は2万9,900haで、前年産に比べ6,100ha（17％）減少した。

このうち、主産地である北海道の作付面積は2万8,000haで、作付中止や他作物への転換により、5,900ha（17％）減少した。

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040250489&ext=xls>

【 調査の概要 】

・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ・ 飼料作物に関する生産振興に資する各種事業（強い農業・担い手づくり総合支援交付金等）の推進のための資料
- ・ 飼料需給安定法（昭和27年法律第356号）に基づく飼料需給計画の策定（国内の飼料の供給量の把握）のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「工芸農作物（さとうきび・茶など）」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y12

- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和7年8月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産政策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞畜産局＞飼料

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l_siryo/

お問合せ先

◎本統計調査結果について

・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3681

（直通）03-6744-2045

・収穫量に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3682

（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037

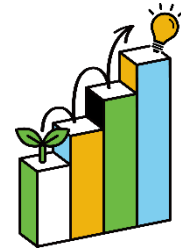


政府統計

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計

Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries